

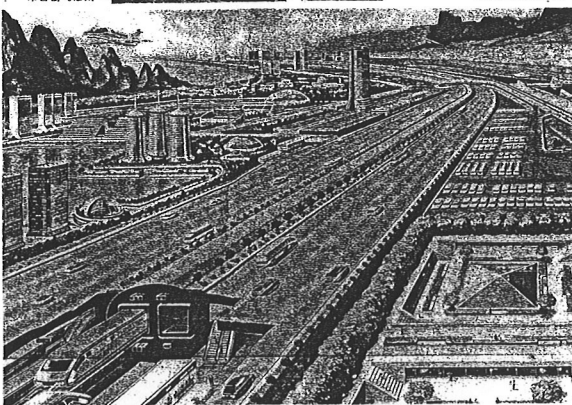
- 835 -

世界宗教が
責任を分担

「世界宗教が責任を分担」というのは、世界平和の鍵を握る重要なテーマである。世界には、仏教、基督教、イスラム教、ヒンドウ教など、さまざまな宗教が存在する。それぞれが、その教義に基づいて、平和と愛を説き、人々の心を導いている。しかし、同時に、宗教間の対立や偏見も生じている。この対立を乗り越え、宗教間の相互理解と協力を促進することが、世界平和の道につながる。世界宗教が、それぞれの責任を分担し、共に世界平和のために努力することが、我々の責務である。

国際ハイウェイに託す

経済的恩恵、他国の為に



未来永劫に残る共有財産

「人間の意識」
拡大が必要

国際ハイウェイは、単なる交通の便を高めるだけでなく、人々の意識を拡大し、世界を一つにする役割を果たす。未来永劫に残る共有財産として、我々が国際ハイウェイに託すのは、単に経済的な利益のためではなく、人類の共通の未来のためにである。

民族の壁を乗り越えて

国際ハイウェイプロジェクトは、民族の壁を乗り越え、世界を一つにするための重要な取り組みである。異なる文化や言語を超越し、互いに理解し合うことが、国際ハイウェイを通じて可能になる。我々が国際ハイウェイに託すのは、人類の共通の未来のためにである。

平和の道、建設へ!

未来をつくる国際ハイウェイプロジェクト



国際ハイウェイの提唱者 文 鮮 明 師

私は、一つの提議をしたいと思います。それは中国から韓国を通り日本に至る「アジア太平洋ハイウェイ」を建設し、ゆくゆくは、全世界に広がる「自由大陸ハイウェイ」を建設することです。これは中国大陸から韓半島を縦断し、トンネルあるいは鉄橋で日本列島に連結して日本を縦断する一大国際ハイウェイで、ここには自由が保障されるのです。

もしこれが建設されるなら、アジア諸国はハイウェイで連絡され、一体化されることが出来ます。そうすれば、経済や文化の交流が頻繁となり、アジア共同体が形成されるのです。《第10回 科学の統一に関する国際会議での開会挨拶より》

(ご案内)

- ビデオ 「本郷路」国際ハイウェイ(10~15分、日本語、英語)
- パンフレット 「国際ハイウェイプロジェクト」(B5判、日本語、英語)
- 「国際ハイウェイ基本構想」(A4判変型)
- 新聞 「本郷路」月刊(タブロイド判4頁/年間3,000円送料込)

国際ハイウェイ建設事業団
THE INTERNATIONAL HIGHWAY CONSTRUCTION CORPORATION
〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-12 新大塚ビル3号4階 ☎03-496-2863

国際ハイウェイプロジェクト活動報告

1981年 11月 7都市間、国際ハイウェイ構想を提唱(第10回科学の統一に関する国際会議、韓国・ソウル) 1982年 2月 日韓トンネル建設プロジェクト・組織委員会発足(委員長 松下正房) 4月 国際ハイウェイ建設事業団発足(理事長 文鮮明) 6月 海上交通1次調査委員会の開始(北九州第一第三回) 10月 東海トンネル建設本部の開始 ○日韓トンネル建設本部 第1次調査委員会の開始 ○調査船 第1次調査(S21)の進捗 1983年 2月 東海トンネル建設本部の開始 3月 調査船 第2次調査(S21)の進捗 5月 日韓トンネル建設本部の開始 ○調査船 第2次調査(S21)の進捗 7月 日韓トンネル建設本部 第2次調査委員会の開始 8月 日韓トンネル建設本部 第2次調査委員会の開始 10月 日韓トンネル建設本部 第2次調査委員会の開始 11月 大分県調査委員会の開始 ○調査船 第2次調査(S21)の進捗 1984年 3月 日韓トンネル建設本部 第3次調査委員会の開始 4月 日韓トンネル建設本部 第3次調査委員会の開始 5月 日韓トンネル建設本部 第3次調査委員会の開始 6月 日韓トンネル建設本部 第3次調査委員会の開始 7月 日韓トンネル建設本部 第3次調査委員会の開始 8月 日韓トンネル建設本部 第3次調査委員会の開始 9月 日韓トンネル建設本部 第3次調査委員会の開始	1985年 1月 東海トンネル建設本部の開始 3月 日韓トンネル建設本部の開始 4月 日韓トンネル建設本部の開始 5月 日韓トンネル建設本部の開始 7月 日韓トンネル建設本部の開始 8月 日韓トンネル建設本部の開始 10月 日韓トンネル建設本部の開始 12月 日韓トンネル建設本部の開始 1986年 1月 東海トンネル建設本部の開始 2月 日韓トンネル建設本部の開始 3月 日韓トンネル建設本部の開始 4月 日韓トンネル建設本部の開始
--	---

新春対談

国際ハイウェイ建設事業団会長

久保木
修己

(社)日本工業技術振興協会会長

西堀 栄三郎

八十六年は、十月三日韓ト、スル痘瘡料の返付が行われ、また、國際ハイウェイ建設に多大なる貢献のあった、その年新年を迎えて、第十四回國際科学者會議（ICCS）に出席して文鮮明が韓ハイウェイ構想を聞き、熱意のこもったロジックを推進して与えられた恩賞第三郎位ト、ハイウェイ建設の推進母体である國際ハイウェイ建設事務局の公衆代表官兼、ト「國際ハイウェイ・エージェンシーの事」をテーマに報告した。

(司会) 岡建雄・国際ハイウェイ建設事業団副理事長)

大自然と技
術の出会い

司会 本日のテーマは「国際公
イウエイとアジアの夢」です。ハ
イウエイ構想は、文鮮明先生が韓
国で開かれた国際科学者会議の席
上で発表されたものですが、基本
的な考えとしては、世界が二つに
なり、人類が理想社会をつくり上
げるためには、どうしても国際ハ
イウエイが必要であるという宗教
的理論と結びついているわけデ
ス。

そこで西先生に、国際ハイウェイについてのお考えと特にアジアに焦点をあてて、未来に対する事を語り合つて頂きたいと思ひます。

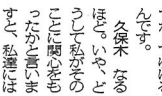
久保木 私が西垣先生に一番お聞きしたいことは、ソウルでハイウェイ構想が発案された時、ウニョン先生が「アムン・シム」をおおびになられたのですね。帰国後、佐々保雄先生に「ヒヨクヤ」をばして「アムン」をお勧めになったのかと聞いています。そのおもしろさを聞いて頂ければ幸いです。

西郷 私としては、文先生にお目にかかってお話をうかがったことが非常に大きなエポックだったわけですね。ショックとでも言った方がいいかねいけません。しかしそれは起爆剤であって、爆発するものではないから私の中にあったかようなものが、そう感じたのではないかと感じます。

私はいろんな宗教観を交差していますが、極端に言ったら無宗教です。しかし大自然や宇宙には非常に大きな魅力を感じています。私の場合、自然の中には原子、分子から人間、生物など森羅万象が包まれます。

[illegible]

未来世界の夢と幸福



大陸の仲間入りする日本



の「孤獨」ですが、トネルが完成した時には大団と隣接になる。言ひ方をかき替へては、日本が陸の仲間りをかき替へたことになる。これには孫々が喜ぶに違いないという気持ちもあつたんですね。

ですから物事は、樂觀に書きて新しいものが得られるんじゃないですか。

久保本　だから先生は、七十歳でどうやうに隊長として行かれたんですね。

深まり増す
歴史的意義

西郷 青年の頃から、この田舎にママに行きで願ひをこまにかけたが、単独でマールへ行って、マナールの森詣町をのらました。昭和三年マールへ登りかけた。昭和三年マールへ登りかけたが、その後もマール側からは、なごさの山登りも登れなかつた。海と壁とのミヤルレにカ、隊長として行った。なごさです。

さう、そのころ、日本山登会、チェン、奥の山登りにもなつたんだね。そのルートを、なごさでも登ったことのない山登り、を、まづ、頂上まで進んでいへばいい。

[illegible][illegible]

頭在化する
日米の摩擦

西堀 また経済については私自
己業人で分かりませんが、もう少
し未来に焦点をあてて考えること

西郷 私はたまたま神保町園で働いたことがありません。業界的にこのフジニクトに取り組みたいとは思いますが、何のかが私にそれを要求するのです。だから磁石に鉄粉が吸ひ寄せられるように、佐々木をはじめ素晴のいい方々が集まってくれたんだと思います。

久保木 先生はいつのころから手を動かしておられますか。南極へ行ったりイタヤへ登ったり、北緯半分の経験を積んで、成功と

す。

西海 そののちをいじりたてたと思ひます。すなわち、その多くの方々の協力を得られ、そのゆゑになつてゐる。

特に整然たる面では、佐々左衛門に勝る方は少ないと思ひますが、その佐々が著実に調査を下へ下へつてゐます。あの青函トンネルをひても、世界で最も困難な事業をその成功とせられまゐります。

さうして多くの技術者が、お役になりつゝお亡くなりなされた。これら

本が孤立してゐる間は間違ひなうなつて来ます。

[illegible]

そういう点で、ちょうど時期を同じくしながらアジアに向けて国際ハイウェイやトンネルが出来上がっていくあと、それがご神様の知恵という方針なのであると考えると、得なんですね、わたしは。

位からいふ言ひますが、物質
 がどんでん國境を越えれば、政治
 もまたいひかへるものだから、
 最後には、國境といふものもな
 意味がなくなつてしまふのだな
 い。その考へやうは、經濟問題に
 つても今とは形勢が変わつてしま
 違ひありません。

久保木 先生のおっしゃるとおりです。また人間というものを通して、私という個人と公に接する、という私の二側面があると著えます。そのどちらを優先するかによつて、轉がらぬ方向が、出づるものと想はざるを得ないのです。たがらアジア共同体にはどうして、世界の為にとつてとて、何にして、有効に發揮するのが夫れかと考へざるを得ませう。

西堀 南極というところは国境も何もないんです。使いたい場所
は自由に使えます。しかし使うの
をやめたと言えば、その権利は
失われます。

使つてはならないが、使つていふ
 他の方々に迷惑にならない限り何
 をしても構わない、そんなつてい
 ます。ところが、そういうつてい
 な条約が間もなく切れてくるわけ
 です。その時に、どう書き替へら
 れるかということが大変な問題な
 ります。

特にケルゼンチンやチリは結構
が目の前です。オーストラリア
もそうです。だから昔のうちにケ
リトリの思想があれば、その接
点が国境のいっしょになります。
南緯30°に限りず、国境、経緯
問題大混乱する時期はすれ来
るでしょう。その後、平和が訪れ
るでしょうか。なかなか訪れ
て安閑としません。なかなかい
はあかしい。理想を背負うには着
々準備する必要があります。

また今、屋活という問題が出ていますが、トンネル建設もその方向で進めていけるという気もします。久保さんはどうお考えですか。

国際ハイウェイに託す

久保木 そのことについては私
達も具体的に考へざるを得ません
が、未来像としては、世界の宗教
つまりキリスト教やイスラム教、
仏教などが、大同団結すべきであ
ると思ひます。

現在、キリスト教とイスラム教があれほど戦ってますが、とことんやりあって戦った末に、「バカなことをやったもんだ」と言う時期がきつと来ると思います。その時、何を中心として宗教が二つに

たつて聞きなれた。それで、
「さういふことは、先づ
かういつくらの未来の時期
に、彼は登場しては格別な
りといふ衝をへたりました。
これが、日、其中の人がま
るに懷け、既に訪した、顧い
するその財源とながてゐる
のです。日本の豊饒の時を迎え
てゐる、國ののちになん
となく、世界の腰のなかで驚異
の下をへるべきこと」

その時直隆は、「わかれまし
て流れていくにやしません。今
後、貴族が持つてゐるもの、世に
いふ金やメカへかへる可能性
もあるのです。」

そのため、そのお金へかに効
果的に未來の日本のために使つ
てゐるのだといふ、國庫増強運動も
欲張りやうにいふきたに導き
てゐる。

直隆　歴史家でも、宗教家
でもない能歴史家であるとして
ます。だからトネルから出て
来るといふ。

久米本　そんなさ先生。宗
教家は、この世界の神なる間
にも敬慕されてゐます。欲望
自体が悪いとはなす、いい方
に使用しないことです。それが
宗教家のいふこと。そしてその世
を離れ去らずに後には未來自
分の手をかりたいんです。

久保木 私も人間がごめんだ
と願ふ内容は詭実現を正確に
信じています。

西畑 人類が見たこともなかつた
年月の裏面の尊厳を月の如く曲げ
る、数字は素直とは違ふませ
ん。それは素直な幼少とどの
ない共有財産となつてしまつて
う。

乗り越えて

民族の壁を

修己

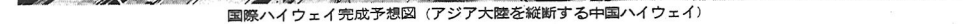
後、學の義塾に入学しつゝ宗教道をした。昭和元年、世田谷基督教第二神學會に入會。昭和二年、同會會長

久保木 修己

昭和6年、足利市で生れた。明治大学政治経済学部を卒業し、その後、慶応義塾大学に在りて2つの宗教の志士たる。昭和10年、山形基督教病院一神部協会に入る。39年、同会会長に就任し、青年・学生の指導にあつた。その間、時代精神を担う新しい文化建設を以て国際文化財団を設立し、理事長となつて、各国指導者の交流は、欧米、東南アジア等に云開けられた。国際勝共連合会・国際文化財団理事、理事長、国際友好協会会長、世界日比谷社長・国際ウェーブ建設事業団会長。著書「愛をすべし」など。

西堀 栄三郎

にしまり、えいごをう。明治36年京都に生まれる。京都府立第一中学校卒業後、大田功蔵を師と東京大学で生物学を専攻し、博士号取得。昭和10年に「御寒草」に大村 真澄博士の研究に従う。昭和12年に「シシコ」賞を受賞し、昭和22年第1次労働省奨励賞、昭和24年第2次労働省奨励賞を受賞。従日牛業技術振興会会長、日牛産産生部理事、日本規格協会顧問、日本畜産会、「蘭越冬記」（直波啓三）、「種をばす虎になす」（日牛産産生部）の著書がある。

A black and white portrait of Seisaburo Nishimura, an elderly man with glasses, wearing a suit and tie, smiling slightly. He is seated, and his hands are clasped in front of him. The background is a light-colored, patterned curtain.

しながら善の競争をして、一貫しういった意味も含まれるのです。

[illegible]

た。それは、敵艦をおさめしこたんと願ふんぞ。
 』と云つておられた。
 美佐兵衛、中国の方から見たに對して、日韓ニセルもいが、早くハウエを中國大陸におつこはしむべしといふ入しれがあつたぞ。そのために、後には、國の實情と國の方々の理解の上で、進めていこうと云へてゐる。

また先ほども金利の自由化をアメリカが迫っているのを申しあげました。お金の金利の動きが高度に流れます。日本の総持預金は金利が非常に安いので、アメリカが金利を高くすれば日本のお金はアメリカ

「未だ神に成られなれど」といふ確信があれば全力を投入しようといふことになる。それが宗教の根本に於ける最も重要なものではないか。

西園 西園の輪もまたと願います。アメリカ月にを送ったことは、我が國の海外の友人に言つては、要するに國策の探究を論じてゐるのです。所有欲といふ方がいふやうに甚だしい。

西園 だが、今度のノベルに於て、我が國の第一節にあることに反して神道とはいふ思ふ。たゞも神の力ですたしてゐる。失はれた

西園 私と聞きますが、おせうすにやませう。

久保 ありませんが、人間には自分の能力でそれ以上のものが得られるはずで、それが言へば、神の力は必要なくとも生かされてゐます。

西園 發明、發明といふのは、その神の恩恵を受けるか、神を信じてゐるか、それによつて違ふ。エセルキがなうといふので、ちゃんやうなうといふので、エセルキを出す動機があった。昔から

西郷 そうですね。日本が
でに徳兵入植であると言われ
すからね。たゞそれは長い時間
かかるのでございまして、無
いかぬでございまして、
いませぬ。要へばは種族
れいす。

久保木 分かるまで、し
歩かぬと云ふのは、一歩
歩かぬと云ふのは、

西郷 着々としたと。

司令 西郷先生のお言葉で
「あきらめたから」「さうする
がりますか、あへずも
て下さい」と云ふは、オ
はるかに、